

紙管ワークショップ

大分県では「大分県立美術館」の竣工を機に、建築家「坂 茂」氏が代表を務める、「ボランティア・アーキテクト・ネットワーク (VAN)」と防災協定を結んでいます。2016年に発生した「熊本地震」の際には、被災地に紙管の供給を行った実績もあります。

このワークショップでは、坂 茂氏が開発した「避難所用・紙の間仕切りシステム」の設置に関する知識・技術の習得を目的としています。
今後起こりうる災害に備えるとともに、建築士の社会貢献とは何か、一緒に考えてみませんか？

日 時：2018年12月16日(日) 17:30～19:30

場 所：アートプラザ2F 研修室・実技室

大分市荷揚町3-3 1

参加費：無料

定 員：25名程度

写真提供：VAN

講師には、伊藤憲吾氏、矢橋徹氏をお招きし、紙管の加工・組立て方法について学びます。「熊本地震」の際には、現地で「避難所用・紙の間仕切りシステム」の設置も行ったお二人に、当時の話をお聞きする場も設けています。



伊藤憲吾氏
(伊藤憲吾建築設計事務所 代表)

1976年 大分県生まれ
1995年 大分県立鶴崎工業高等学校建築科 卒業
1995年 株式会社辻設計 勤務
2003年 大分市内設計事務所 勤務
2009年 伊藤憲吾建築設計事務所 設立



矢橋徹氏
(矢橋徹建築設計事務所 代表)

1981年 熊本県生まれ
2003年 日本文理大学工学部建築学科 卒業
2005年 UID 一級建築士事務所 勤務
2008年 森繁建築研究所 勤務
2013年 矢橋徹建築設計事務所 設立

申込先 公益社団法人大分県建築士会 大分支部

TEL : 097-532-6607

MAIL : info2@oita-shikai.or.jp

※メールでのお申込みの際は件名に「紙管ワークショップ」と記載ください。

※申込みにあたりましては、お名前、ご連絡先をお知らせください。

※頂いた個人情報は、建築士会からのご連絡以外には使用いたしません。